

## 新たな視点から・・・ 新分野参入促進勉強会を開催 ～原子力施設の廃炉処理の現状と福島県の取組について～

2017.2.20



【写真上】約110名が参加し熱気あふれた勉強会兼講演会会場の様子

【写真左】左から、県産学連携推進室長／中村修氏、つくばグローバル・イノベーション推進機構理事長／住川雅晴氏、福島県ハイテクプラザ所長／山田理氏、㈱興洋顧問／鍛冶邦雄氏、㈱関東技研代表取締役／小野洋伸氏

県内企業の新分野参入施策の一環として、「原子力施設の廃炉処理の現状と福島県の取組について」と題し、2月20日(月)13時30分から、ひたちなかテクノセンター研修ホールで、本協議会主催にて勉強会兼講演会が開催されました。国内には建設から30年を経過した原子炉が多数休止中もしくは稼働しており、熱い関心のもと企業関係者や技術者等約110名(含事務局)が一堂に会し、聴講討論戴きました。

講演に先立ち冒頭、主催者側を代表して県商工労働観光部産業政策課産学連携推進室長／中村修氏から、本勉強会を通して新たなビジネスチャンス創出に期待する旨、挨拶がありました。

講演では、最初に(一社)つくばグローバル・イノベーション推進機構理事長、㈱日立製作所顧問／住川雅晴氏から、「原子力施設の廃炉処理の現状について」のテーマで国内に於ける原子炉の現状とその直面する課題につき動画を交え解説講演戴きました。特に、事故を起こした原子炉のデブリ等現況調査にはロボットと相俟って、環境適応面から内視鏡的技術応用を提唱されていたことが印象的でした。

続いて、福島県における廃炉の実際に焦点を当てた2件の講演がありました。1件目は、福島県ハイテクプラザが主宰する「福島県廃炉・除染ロボット技術研究会」に関するもので、同所所長／山田理氏から、そのアグレッシブな技術支援活動と現実を見据えた企業のグループ化など、着実な取組が報告されました。続く2件目は、実際の除染活動に使われる除染用機器の要件や今後の展望につき「廃炉・除染関連機器の製作と今後の発展的展開について」の演題で、㈱興洋顧問／鍛冶邦雄氏から、同社が取組んできた水圧駆動ロボットを中心とした開発実績と、更には将来へ向けた課題とその解決への意気込みが示されました。

最後に県内企業の取組事例発表として、㈱関東技研代表取締役／小野洋伸氏から「汚染分布調査ロボットを遠隔操作する車両の開発」と題した講演があり、既に実用化の域に達した車両の実現例が報告されました。

各講演後の質疑応答を含めて、活発な討論が行われました。何よりも特筆される事は、多数の参加者が一様に今回の勉強会テーマに強い関心と企業化志向を有していたことで、多数の参加者の熱意と共に今後の新たなビジネス展開に大きな期待を感じさせる勉強会となりました。

## 会員企業情報を更新しました

2017.2.28

ひたちなかテクノセンターホームページ(\*1)に掲載中の本協議会会員企業紹介を、掲載企業各社ご担当のご支援により2月末日付で見直し更新致しました。今後も継続的に見直しを行い研究者や関連企業の皆様に最新情報をお届けする予定です。なお、見直しの機会ごとに新規の登録も募集(無料)致します。奮って掲載をご検討ください。

(\*1)<http://www.htc.co.jp> から「産業支援事業」/「中性子産業利用」→【関連リンク】/「県内中性子利用連絡協議会」と辿り検索ください。

\*\*\*\*\* J-PARC NEWS 発行 \*\*\*\*\*

J-PARC NEWS 第142号が発行されました。

<http://j-parc.jp/ja/news/news-j.html>